

ダイワ高格付カナダドル債 オープン (毎月分配型)

運用報告書（全体版）

第228期（決算日 2022年6月10日）
第229期（決算日 2022年7月11日）
第230期（決算日 2022年8月10日）
第231期（決算日 2022年9月12日）
第232期（決算日 2022年10月11日）
第233期（決算日 2022年11月10日）

（作成対象期間 2022年5月11日～2022年11月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、カナダ・ドル建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	無期限（設定日：2003年5月20日）		
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンドの受益証券	
	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	内外の公社債等および短期金融商品	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			F T S E カナダ国債 インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債券先物 比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
204期末(2020年 6 月10日)	3,390	10	4.8	19,320	4.4	97.5	—	112,171
205期末(2020年 7 月10日)	3,332	10	△1.4	19,108	△1.1	97.6	—	108,960
206期末(2020年 8 月11日)	3,362	10	1.2	19,419	1.6	97.1	—	108,628
207期末(2020年 9 月10日)	3,395	10	1.3	19,577	0.8	97.4	—	107,983
208期末(2020年10月12日)	3,376	5	△0.4	19,429	△0.8	97.2	—	106,160
209期末(2020年11月10日)	3,373	5	0.1	19,380	△0.3	97.0	—	103,565
210期末(2020年12月10日)	3,392	5	0.7	19,548	0.9	97.0	—	101,225
211期末(2021年 1 月12日)	3,394	5	0.2	19,487	△0.3	97.0	—	98,928
212期末(2021年 2 月10日)	3,412	5	0.7	19,547	0.3	97.1	—	97,315
213期末(2021年 3 月10日)	3,496	5	2.6	19,944	2.0	95.7	—	97,935
214期末(2021年 4 月12日)	3,558	5	1.9	20,299	1.8	97.5	—	97,294
215期末(2021年 5 月10日)	3,640	5	2.4	20,742	2.2	97.2	—	97,970
216期末(2021年 6 月10日)	3,676	5	1.1	21,054	1.5	97.7	—	96,439
217期末(2021年 7 月12日)	3,584	5	△2.4	20,670	△1.8	97.6	—	92,440
218期末(2021年 8 月10日)	3,559	5	△0.6	20,604	△0.3	97.4	—	90,541
219期末(2021年 9 月10日)	3,520	5	△1.0	20,456	△0.7	97.8	—	88,094
220期末(2021年10月11日)	3,604	5	2.5	20,745	1.4	97.2	—	88,699
221期末(2021年11月10日)	3,610	5	0.3	20,972	1.1	97.1	—	86,086
222期末(2021年12月10日)	3,546	5	△1.6	20,774	△0.9	97.5	—	83,120
223期末(2022年 1 月11日)	3,591	5	1.4	20,957	0.9	97.2	—	82,983
224期末(2022年 2 月10日)	3,561	5	△0.7	20,755	△1.0	97.2	—	81,269
225期末(2022年 3 月10日)	3,519	5	△1.0	20,562	△0.9	97.6	—	79,568
226期末(2022年 4 月11日)	3,732	5	6.2	21,522	4.7	97.0	—	82,354
227期末(2022年 5 月10日)	3,719	5	△0.2	21,195	△1.5	96.9	—	80,003
228期末(2022年 6 月10日)	3,888	5	4.7	22,104	4.3	97.6	—	81,704
229期末(2022年 7 月11日)	3,867	5	△0.4	22,027	△0.3	97.4	—	79,718
230期末(2022年 8 月10日)	3,901	5	1.0	22,657	2.9	96.6	—	78,595
231期末(2022年 9 月12日)	4,025	5	3.3	23,130	2.1	97.3	—	79,419
232期末(2022年10月11日)	3,839	5	△4.5	22,017	△4.8	97.3	—	74,323
233期末(2022年11月10日)	3,916	5	2.1	22,424	1.8	97.3	—	74,513

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) F T S E カナダ国債インデックス (円換算) は、F T S E カナダ国債インデックス (カナダ・ドルベース) のデータをもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E カナダ国債インデックス (カナダ・ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

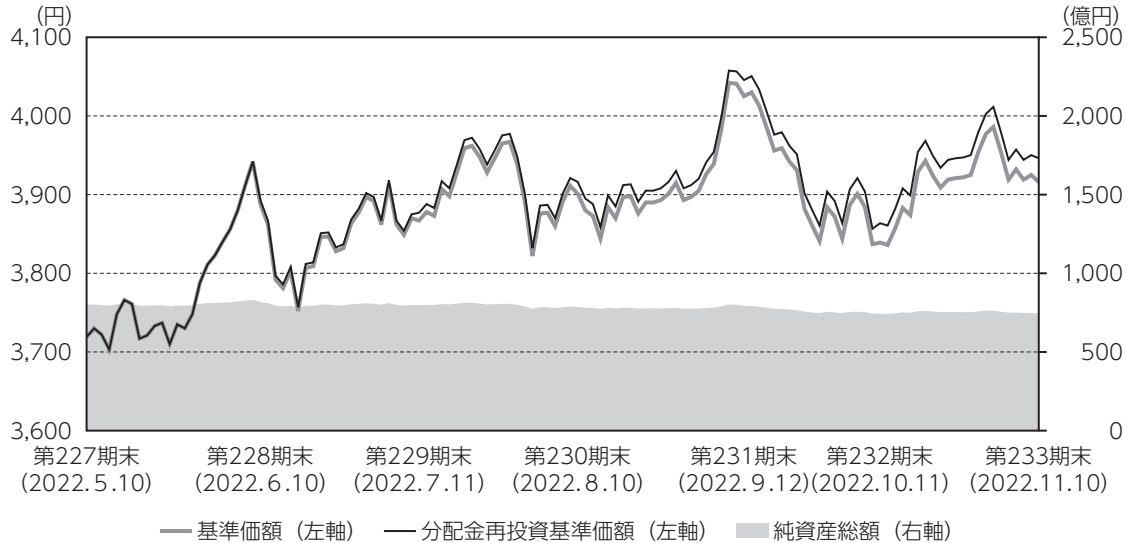
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第228期首：3,719円

第233期末：3,916円（既払分配金30円）

騰 落 率：6.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

カナダ・ドル建ての債券に投資した結果、金利が上昇（債券価格は下落）したことは基準価額のマイナス要因となりましたが、債券の利息収入を得たことやカナダ・ドルが対円で上昇（円安）したことが基準価額のプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		F T S E カ ナ ダ 国 債 インデックス (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第228期	(期首)2022年 5 月10日	円 3,719	% －	21,195	% －	% 96.9	% －
	5 月末	3,788	1.9	21,733	2.5	96.9	－
	(期末)2022年 6 月10日	3,893	4.7	22,104	4.3	97.6	－
第229期	(期首)2022年 6 月10日	3,888	－	22,104	－	97.6	－
	6 月末	3,897	0.2	22,167	0.3	96.6	－
	(期末)2022年 7 月11日	3,872	△0.4	22,027	△0.3	97.4	－
第230期	(期首)2022年 7 月11日	3,867	－	22,027	－	97.4	－
	7 月末	3,938	1.8	22,850	3.7	97.4	－
	(期末)2022年 8 月10日	3,906	1.0	22,657	2.9	96.6	－
第231期	(期首)2022年 8 月10日	3,901	－	22,657	－	96.6	－
	8 月末	3,893	△0.2	22,458	△0.9	96.9	－
	(期末)2022年 9 月12日	4,030	3.3	23,130	2.1	97.3	－
第232期	(期首)2022年 9 月12日	4,025	－	23,130	－	97.3	－
	9 月末	3,872	△3.8	22,310	△3.5	96.9	－
	(期末)2022年10月11日	3,844	△4.5	22,017	△4.8	97.3	－
第233期	(期首)2022年10月11日	3,839	－	22,017	－	97.3	－
	10月末	3,977	3.6	22,810	3.6	97.2	－
	(期末)2022年11月10日	3,921	2.1	22,424	1.8	97.3	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

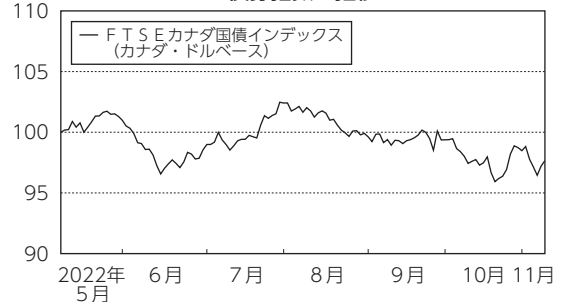
(2022.5.11～2022.11.10)

■カナダ債券市況

カナダ債券市場の金利は上昇しました。

インフレ抑制のためにカナダ中央銀行が積極的な利上げを実施したことや、米国で金融引き締め観測が強まり米国金利が上昇したことを受けて、カナダの金利は上昇しました。また、堅調な経済指標も、金利の上昇圧力となりました。

債券指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

■為替相場

カナダ・ドルの対円為替レートは上昇しました。

カナダの金利が上昇したことや利上げが実施されたことなどを背景に、カナダ・ドル円は上昇しました。また、堅調な経済指標も、カナダ・ドルの上昇を後押ししました。

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

主としてカナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

ポートフォリオについて

(2022.5.11～2022.11.10)

■当ファンド

「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」を高位に組み入れました。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。

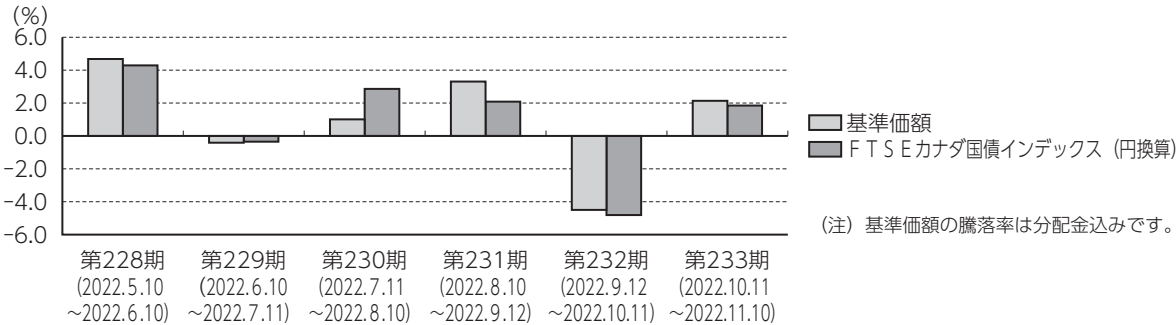
債券種別構成に関しては、カナダの州債の組入比率を高めを保ちました。

為替に関しては、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保ちました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、運用方針により、参考指数と比較して州債や事業債など国債以外の債券にも投資しているという特徴があります。参考指数はカナダの債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
	2022年5月11日 ～2022年6月10日	2022年6月11日 ～2022年7月11日	2022年7月12日 ～2022年8月10日	2022年8月11日 ～2022年9月12日	2022年9月13日 ～2022年10月11日	2022年10月12日 ～2022年11月10日
当期分配金（税込み）（円）	5	5	5	5	5	5
対基準価額比率（％）	0.13	0.13	0.13	0.12	0.13	0.13
当期の収益（円）	5	5	5	5	4	5
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	0	—
翌期繰越分配対象額（円）	122	123	126	131	130	133

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 9.49円	✓ 5.24円	✓ 8.41円	✓ 9.49円	✓ 4.18円	✓ 8.30円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	84.12	84.15	84.19	84.22	84.25	84.27
(d) 分配準備積立金	34.26	38.73	38.95	42.33	✓ 46.80	45.96
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	127.89	128.14	131.55	136.05	135.23	138.54
(f) 分配金	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	122.89	123.14	126.55	131.05	130.23	133.54

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

主としてカナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第228期～第233期 (2022.5.11～2022.11.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	27円	0.693%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,880円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.277)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.389)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	27	0.705	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

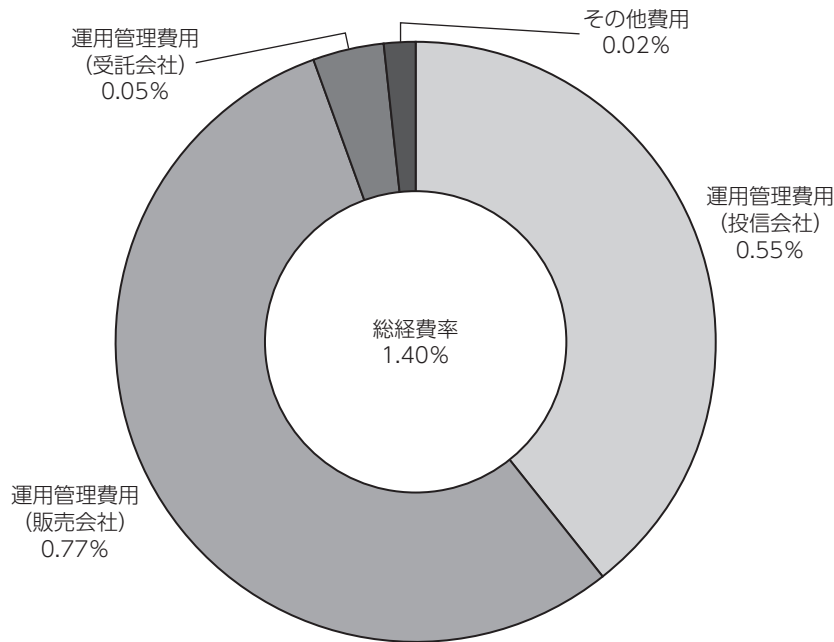
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年5月11日から2022年11月10日まで)

決 算 期	第 228 期 ～ 第 233 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ高格付カナダドル債 マザーファンド	－	－	4,858,658	10,787,460

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第227期末	第 233 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	37,775,069	32,916,410	74,147,506

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年6月10日)、(2022年7月11日)、(2022年8月10日)、(2022年9月12日)、(2022年10月11日)、(2022年11月10日)現在

項 目	第 228 期 末	第 229 期 末	第 230 期 末	第 231 期 末	第 232 期 末	第 233 期 末
(A) 資産	82,293,285,589円	80,046,043,453円	78,888,296,471円	79,987,121,687円	74,574,157,051円	74,865,115,088円
コール・ローン等	582,407,751	576,299,576	561,735,562	564,552,951	529,760,219	535,818,325
ダイワ高格付カナダドル債 マザーファンド(評価額)	81,311,563,276	79,334,699,976	78,222,674,675	79,048,534,402	73,962,361,895	74,147,506,071
未収入金	399,314,562	135,043,901	103,886,234	374,034,334	82,034,937	181,790,692
(B) 負債	588,470,467	327,462,184	292,789,011	567,301,248	250,859,306	352,099,601
未払収益分配金	105,084,730	103,088,792	100,745,491	98,650,475	96,807,443	95,147,744
未払解約金	389,427,799	130,567,362	101,384,661	370,703,100	69,833,992	170,752,263
未払信託報酬	93,775,445	93,436,681	90,109,309	97,198,056	83,285,891	85,074,792
その他未払費用	182,493	369,349	549,550	749,617	931,980	1,124,802
(C) 純資産総額(A－B)	81,704,815,122	79,718,581,269	78,595,507,460	79,419,820,439	74,323,297,745	74,513,015,487
元本	210,169,461,532	206,177,584,984	201,490,982,569	197,300,950,242	193,614,886,414	190,295,488,645
次期繰越損益金	△128,464,646,410	△126,459,003,715	△122,895,475,109	△117,881,129,803	△119,291,588,669	△115,782,473,158
(D) 受益権総口数	210,169,461,532□	206,177,584,984□	201,490,982,569□	197,300,950,242□	193,614,886,414□	190,295,488,645□
1万口当り基準価額(C/D)	3,888円	3,867円	3,901円	4,025円	3,839円	3,916円

* 当作成期首における元本額は215,115,939,320円、当作成期間（第228期～第233期）中における追加設定元本額は800,953,496円、同解約元本額は25,621,404,171円で
す。

* 第233期末の計算口数当りの純資産額は3,916円です。

* 第233期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は115,782,473,158円です。

■投資信託財産の構成

2022年11月10日現在

項 目	第 233 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	74,147,506	99.0
コール・ローン等、その他	717,609	1.0
投資信託財産総額	74,865,115	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資
信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので
す。なお、11月10日における邦貨換算レートは、1カナダ・ドル＝
108.20円です。

(注3) ダイワ高格付カナダドル債マザーファンドにおいて、第233期末における
外貨建純資産（91,301,603千円）の投資信託財産総額（91,708,385千
円）に対する比率は、99.6%です。

ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）

■損益の状況

第228期 自2022年5月11日 至2022年6月10日 第231期 自2022年8月11日 至2022年9月12日
第229期 自2022年6月11日 至2022年7月10日 第232期 自2022年9月13日 至2022年10月11日
第230期 自2022年7月12日 至2022年8月10日 第233期 自2022年10月12日 至2022年11月10日

項 目	第 228 期	第 229 期	第 230 期	第 231 期	第 232 期	第 233 期
(A) 配当等収益	△ 7,845円	△ 10,511円	△ 3,275円	△ 10,872円	△ 16,930円	△ 17,116円
受取利息	78	153	37	96	89	141
支払利息	△ 7,923	△ 10,664	△ 3,312	△ 10,968	△ 17,019	△ 17,257
(B) 有価証券売買損益	3,739,539,464	△ 237,361,275	879,321,899	2,654,605,766	△ 3,431,975,466	1,643,829,237
売買益	3,779,937,116	16,909,049	906,282,394	2,674,022,069	25,723,832	1,671,609,385
売買損	△ 40,397,652	△ 254,270,324	△ 26,960,495	△ 19,416,303	△ 3,457,699,298	△ 27,780,148
(C) 信託報酬等	△ 93,957,938	△ 93,623,537	△ 90,289,510	△ 97,398,123	△ 83,468,254	△ 85,267,614
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,645,573,681	△ 330,995,323	789,029,114	2,557,196,771	△ 3,515,460,650	1,558,544,507
(E) 前期繰越損益金	△ 27,807,586,755	△ 23,789,421,286	△ 23,653,340,291	△ 22,469,619,837	△ 19,627,738,315	△ 22,828,617,935
(F) 追加信託差損益金	△104,197,548,606	△102,235,498,314	△ 99,930,418,441	△ 97,870,056,262	△ 96,051,582,261	△ 94,417,251,986
(配当等相当額)	(1,768,111,593)	(1,735,132,104)	(1,696,385,122)	(1,661,819,586)	(1,631,233,615)	(1,603,793,114)
(売買損益相当額)	(△105,965,660,199)	(△103,970,630,418)	(△101,626,803,563)	(△ 99,531,875,848)	(△ 97,682,815,876)	(△ 96,021,045,100)
(G) 合計(D+E+F)	△128,359,561,680	△126,355,914,923	△122,794,729,618	△117,782,479,328	△119,194,781,226	△115,687,325,414
(H) 収益分配金	△ 105,084,730	△ 103,088,792	△ 100,745,491	△ 98,650,475	△ 96,807,443	△ 95,147,744
次期繰越損益金(G+H)	△128,464,646,410	△126,459,003,715	△122,895,475,109	△117,881,129,803	△119,291,588,669	△115,782,473,158
追加信託差損益金	△104,197,548,606	△102,235,498,314	△ 99,930,418,441	△ 97,870,056,262	△ 96,051,582,261	△ 94,417,251,986
(配当等相当額)	(1,768,111,593)	(1,735,132,104)	(1,696,385,122)	(1,661,819,586)	(1,631,233,615)	(1,603,793,114)
(売買損益相当額)	(△105,965,660,199)	(△103,970,630,418)	(△101,626,803,563)	(△ 99,531,875,848)	(△ 97,682,815,876)	(△ 96,021,045,100)
分配準備積立金	814,709,057	803,809,886	853,655,030	923,863,482	890,363,227	937,423,070
繰越損益金	△ 25,081,806,861	△ 25,027,315,287	△ 23,818,711,698	△ 20,934,937,023	△ 24,130,369,635	△ 22,302,644,242

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 228 期	第 229 期	第 230 期	第 231 期	第 232 期	第 233 期
(a) 経費控除後の配当等収益	199,622,143円	108,226,450円	169,510,454円	187,275,262円	81,004,861円	157,968,564円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,768,111,593	1,735,132,104	1,696,385,122	1,661,819,586	1,631,233,615	1,603,793,114
(d) 分配準備積立金	720,171,644	798,672,228	784,890,067	835,238,695	906,165,809	874,602,250
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	2,687,905,380	2,642,030,782	2,650,785,643	2,684,333,543	2,618,404,285	2,636,363,928
(f) 分配金	105,084,730	103,088,792	100,745,491	98,650,475	96,807,443	95,147,744
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	2,582,820,650	2,538,941,990	2,550,040,152	2,585,683,068	2,521,596,842	2,541,216,184
(h) 受益権総口数	210,169,461,532口	206,177,584,984口	201,490,982,569口	197,300,950,242口	193,614,886,414口	190,295,488,645口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 228 期	第 229 期	第 230 期	第 231 期	第 232 期	第 233 期
1万口当り分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

運用報告書 第39期（決算日 2022年11月10日）

（作成対象期間 2022年5月11日～2022年11月10日）

ダイワ高格付カナダドル債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

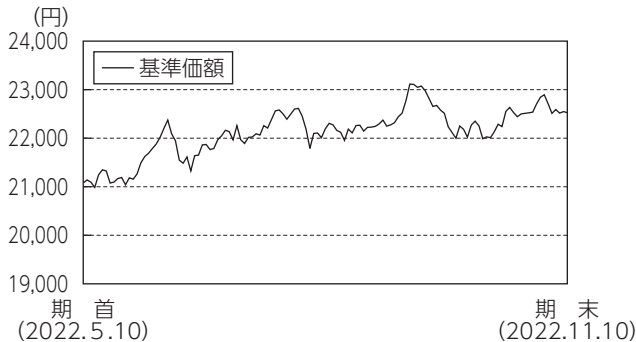
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債等および短期金融商品
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		F T S E カナダ国債 インデックス (円換算)		社 公 債 入 率		債券 物 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	組 比	先 比	
(期首)2022年 5 月10日	21,078	—	21,195	—	97.4	—	—
5 月末	21,490	2.0	21,733	2.5	97.4	—	—
6 月末	22,163	5.1	22,167	4.6	97.1	—	—
7 月末	22,453	6.5	22,850	7.8	97.9	—	—
8 月末	22,249	5.6	22,458	6.0	97.3	—	—
9 月末	22,183	5.2	22,310	5.3	97.4	—	—
10 月末	22,845	8.4	22,810	7.6	97.7	—	—
(期末)2022年11月10日	22,526	6.9	22,424	5.8	97.8	—	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) F T S E カナダ国債インデックス (円換算) は、F T S E カナダ国債インデックス (カナダ・ドルベース) のデータをもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E カナダ国債インデックス (カナダ・ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：21,078円 期末：22,526円 騰落率：6.9%

【基準価額の主な変動要因】

カナダ・ドル建ての債券に投資した結果、金利が上昇 (債券価格は下落) したことは基準価額のマイナス要因となりましたが、債券の利息収入を得たことやカナダ・ドルが対円で上昇 (円安) したことが基準価額のプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○カナダ債券市況

カナダ債券市場の金利は上昇しました。

インフレ抑制のためにカナダ中央銀行が積極的な利上げを実施したことや、米国で金融引き締め観測が強まり米国金利が上昇したことを受けて、カナダの金利は上昇しました。また、堅調な経済指標も、金利の上昇圧力となりました。

○為替相場

カナダ・ドルの対円為替レートは上昇しました。

カナダの金利が上昇したことや利上げが実施されたことなどを背景に、カナダ・ドル円は上昇しました。また、堅調な経済指標も、カナダ・ドルの上昇を後押ししました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

◆ポートフォリオについて

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で運用しました。

債券種別構成に関しては、カナダの州債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

当ファンドは、運用方針により、参考指数と比較して州債や事業債など国債以外の債券にも投資しているという特徴があります。参考指数はカナダの債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用 (保管費用)	3 (3)
(その他)	(0)
合 計	3

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2022年 5月11日から2022年11月10日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル 14,139	千カナダ・ドル 17,511 (ー)
		地方債証券	53,327	77,831 (ー)
		特殊債券	－	12,941 (ー)
		社債券	－	116,058 (5,274)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注 4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2022年 5月11日から2022年11月10日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
ONTARIO PROVINCE (カナダ) 3.75% 2032/6/2		3,670,606	ONTARIO PROVINCE (カナダ) 3.5% 2024/6/2		5,156,965
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2% 2032/6/1		1,539,334	Ontario Electricity Financial Corp (カナダ) 8.9% 2022/8/18		4,725,976
PROVINCE OF ALBERTA CANADA (カナダ) 1.65% 2031/6/1		1,157,228	HSBC Bank Canada (カナダ) 2.542% 2023/1/31		2,682,612
ONTARIO PROVINCE (カナダ) 2.25% 2031/12/2		908,181	Bank of Montreal (カナダ) 2.89% 2023/6/20		2,110,942
			Canadian Imperial Bank of Commerce/Canad (カナダ) 2.47% 2022/12/5		2,086,403
			CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2.75% 2048/12/1		1,683,641
			CANADA HOUSING TRUST (カナダ) 1.9% 2031/3/15		1,400,236
			BRITISH COLUMBIA (カナダ) 9% 2024/8/23		1,178,953
			Province of Quebec Canada (カナダ) 9.375% 2023/1/16		1,077,345
			Province of Alberta Canada (カナダ) 2.2% 2026/6/1		1,020,394

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期 区 分	当		期			末		
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
カナダ	千カナダ・ドル 886,682	千カナダ・ドル 827,351	千円 89,519,390	% 97.8	% －	% 35.6	% 39.8	% 22.5

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当		期			末																
区	分	銘	柄	種	類	年	利	率	額	面	金	額	評	価	額	償	還	年	月	日	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年11月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	89,519,390	97.6
コール・ローン等、その他	2,188,994	2.4
投資信託財産総額	91,708,385	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月10日における邦貨換算レートは、1カナダ・ドル＝108.20円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（91,301,603千円）の投資信託財産総額（91,708,385千円）に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年11月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	91,778,985,279円
コール・ローン等	1,269,961,718
公社債(評価額)	89,519,390,831
未収入金	70,600,000
未収利息	731,242,668
前払費用	75,168,912
差入委託証拠金	112,621,150
(B) 負債	261,793,931
未払金	70,669,996
未払解約金	191,123,935
(C) 純資産総額(A－B)	91,517,191,348
元本	40,627,928,614
次期繰越損益金	50,889,262,734
(D) 受益権総口数	40,627,928,614口
1万口当り基準価額(C／D)	22,526円

* 期首における元本額は49,431,171,148円、当作成期間中における追加設定元本額は5,866,110円、同解約元本額は8,809,108,644円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ世界債券ファンドM（FOFs用）（適格機関投資家専用） 144,492,483円
 常陽3分法ファンド 54,786,924円
 ダイワ高格付カナダドル債オープン（年1回決算型） 582,920,125円
 ダイワ高格付カナダドル債オープン・為替アクティブヘッジ（毎月分配型） 33,853,870円
 ダイワ世界債券ファンドV.A（適格機関投資家専用） 6,541,842円
 ダイワ世界債券ファンド（毎月分配型） 1,446,018,053円
 ダイワ・グローバル債券ファンド（年2回決算型） 22,908,625円
 ダイワ世界債券ファンド（年2回決算型） 2,186,553円
 ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型） 32,916,410,402円
 ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型） 5,417,809,737円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は22,526円です。

■損益の状況

当期 自2022年5月11日 至2022年11月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,514,605,765円
受取利息	1,513,820,571
その他収益金	820,973
支払利息	△ 35,779
(B) 有価証券売買損益	5,464,293,980
売買益	8,356,620,831
売買損	△ 2,892,326,851
(C) その他費用	△ 11,585,330
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	6,967,314,415
(E) 前期繰越損益金	54,761,024,793
(F) 解約差損益金	△10,846,215,814
(G) 追加信託差損益金	7,139,340
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	50,889,262,734
次期繰越損益金(H)	50,889,262,734

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。